



きらぼし 38号

子どもたちの体験を支えたい



2025年度のネットワークくわっこの事業は、スタートしています。どんな子どもたちに出会えるか、どんなことを作り合っているのか、楽しみです。

そんな中、以前当団体の子ども体験事業「子ども料理探検隊」に参加されたお子さんのお母さんから、お子さんの近況について、嬉しいお知らせをいただきました。

「料理が好きで、料理人になるため今年調理学校に入学しました。40歳で定食屋をやる夢を持っています。美味しいものを食べて、喜ぶ顔を見るのが好きだそうです。今でも子ども料理探検隊のレシピを作っています。」調理学校の制服姿の写真も送っていただきました。子どもの体験活動に取り組んでいる者にとっては、活動冥利に尽きる言葉です。子ども料理探検隊のスタッフは勿論のこと、3歳から彼のことを知っている私としては、夢に向かって進んでいる彼を応援したい気持ちでいっぱいになりました。彼の定食屋さんに食べいく夢ができました。

子どもたちには、多様な体験をして、体験のポケットを増やして行ってほしいです。幼稚園での体験を入れるポケット、小学校での体験を入れるポケット、中学校の体験を入れるポケットなど、その中にお家の人との体験、友達との体験、学校での体験、学校外での体験などのポケットがあり、更にその中に、楽しかった体験、悔しかった体験、悲しかった体験、ドキドキした体験などが様々な色や味のキャンディになって詰め込まれていけばいいと思います。当団体が提供する体験も、キャンディとなって、その子のポケットに入り、人生の選択場面で、活かしてもらえたらと思います。

こんな統計調査があります。学校外での体験を得る機会が多いほど、学習意欲や課題解決能力が向上するという指摘があり、文部科学省も、体験活動を積極的に行うことで、現実の世界や生活への興味・関心・意欲の向上、自尊感情の獲得、社会性や生きる力の獲得、豊かな人間性の形成、体力や心身の健康の保持増進など8つの効果があると公表しています。また、小学生の頃、様々な体験をした子どもは年齢が上がっても安定した良い影響が続くというものです。

しかしながら、学校外の体験の機会を得られるかどうかは、子どもによって格差が生じています。この「体験の格差」が、昨今社会課題となっています。格差が生じる要因として、経済的理由や地域的理由が挙げられますが、9人に1人の子どもが貧困といわれる日本において、経済的な理由は子どもから体験の機会を奪っています。加えて、急激な物価高が子育て家庭を直撃しています。

桑名市では、今年4月から「桑名市こどもの権利条例」が施行されました。「差別されない権利」「幸せに育ち・生きる権利」は、特に大切なものとして保障されなければならない権利の中に入っています。子どもの体験の機会が保障されることも、子どもの権利です。

生まれた家庭・地域によって、体験の機会を得られないことがないよう私たちの団体では、昨年からの団体の活動を支援していただける賛助会員を募っています。地域の子どもたちやその社会と一緒に作っていただけることに感謝するとともに勇気をいただいております。賛助会員の方々のお名前はきらぼしの裏表紙に書いております。ぜひご覧になってください。



第10回 3月9日「最終回のお祝膳」

いよいよ最終回を迎えました。みんなががんばってきたことをお祝いするためのお膳です。子どもたちは前月から「何作るの?」「ご馳走?」と聞いてきて期待いっぱいでした。なので、色合い良いてまり寿司、イチゴのホワイトチョコがけ、桑名のはまぐりのお吸い物と奮発しました。ハマグリが珍しいのか、口を開くまでずっと観察したり、口が開くと火が通たっよとみんなに知らせたり、楽しそうでした。潮汁に仕立てましたが、子どもたちにはあまり人気がなかったです。香や味がダイレクト過ぎたのかも。メニューが多くても、みんなで一斉にいただきますことができました。さすがです。10回を経験した子どもたちの成長がみられました。また、調理の腕だけでなく、食事をする楽しみや片付けをするとさっぱりすることなど、たくさんのことを体得しました。子ども料理探検隊の後の調理室はとてもきれいです。こんな子どもたちを毎年見られるスタッフは幸せです。保護者の方々にも意義や目的を理解していただきありがとうございました。

子どもたちにも、嫌な記憶、辛い出来事などいろいろあると思います。でもせめて子ども料理探検隊の数時間はそれを忘れて、楽しく自由な時間を過ごし記憶の上書きをして欲しいと思っています。その積み重ねが自己肯定感と自信につながると考えます。今年度は13名の参加者となりました。どんな子どもたちが来るのか、私たちもドキドキワクワクしながら、5月25日の第1回を迎えるために準備しています。

作ってみて♡子ども料理探検隊の簡単レシピだよ!

材料 イチゴ 10個くらい、 お好きな板チョコ(ここでは白いダース)1箱
湯煎調理に使えるポリ袋 1枚

①イチゴはヘタを取らずによく洗い、ペーパーなどで水分をとる。

②ポリ袋にチョコを割り入れて、湯煎にかける。

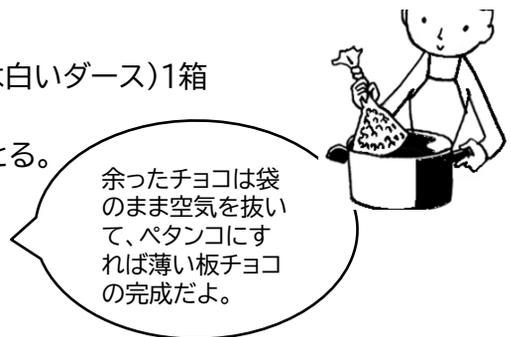
ダースはそのまま1箱全部入れて湯煎にかける。

※湯煎はナベに水が沸騰するまで沸かしたら火を止める。

なべ底にサイズが合うお皿を沈める。(ポリ袋がナベに直接当たらないようにするため)

③溶けたチョコにイチゴのヘタを持ってからめて、たれるチョコを少し切って、クッキングペーパーに並べて、冷蔵庫で冷やす。チョコが固まったらできあがり!

リンゴやカットパイナップルなどお好きな果物やクッキーなどにも挑戦して楽しんでね(^_-)☆



ボランティア講座

対象 中学生から大人

≪開催日・内容≫

6月8日 「ボランティアについて」

「『知る』『知り合う』からうまれる関わり～障がいてなんだろう～」
「乳幼児救急法」

6月15日 「託児体験」

「スタッフをするにあたって」

7月～8月 「ボランティア講座受講生企画一子育て支援センタースタッフ体験一」

≪対象≫ 中学生～大人

すでに、参加者募集は始まっています。

今年も、受講生の人たちと共に学び、講座を作っていくことが楽しみです。

受講後のボランティア活動にも期待しています。

にじっこ～乳幼児と親子のふれあい教室

募集中!

今年度もにじっこは乳幼児の親子で共に楽しい時間を過ごすことを目指して活動しています。
参加者やスタッフを募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。
どのスタッフも自分たちも一緒に楽しみ、笑い合いながら実施しています。ご気軽にお声掛けください。

今年度、にじっこの活動が進化します！

『にじっこ』月1回定期開催、親子ふれあい遊び

『にじるーむ』月1回（基本的には第4週）開催、親子の居場所

『ファミリーリトミック』年度内4回開催、家族で参加できる

の3本柱で行います。

また、参加費もどれも1回500円です。11回分で5,000円のチケット綴りもあり、どの活動にも使えます。たくさん参加すると顔見知りのお友達もできるし、お得だよ💰

○親子ふれあい遊び『にじっこ』

今年度より、単発参加もOKになりました！

前半はリトミック、ふれあい遊び、季節の製作・遊びなどを通して、乳幼児期に大切なこと、子育て世代に知ってほしい内容なども伝えながら活動します。

後半は、自由に遊びながら親同士の交流の場になります。育児についての話、お出かけの話など、いろんな話が飛び出します。

○親子の居場所『にじるーむ』

毎回内容を変えて開催予定。

5/28（水）はベビーリトミック♪

目、耳、からだ、五感を使って音楽力、豊かな感性を育みます。

終了後は、お昼を持ってきて食事しておしゃべりもOK。



○『ファミリーリトミック』

夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど季節を取り入れたイベントを開催する予定です。

就園児、その兄弟・家族も参加できます。

夏休み・冬休みなどの長期休みと土曜日など、兄弟や家族で参加しやすい日程を予定。

『にじっこ』は全ての企画について、ブログ、公式ラインの他インスタグラムからも様子をご覧いただけます。申し込みは右記のQRコードからブログに入っていたら、詳細をご覧ください。

ご興味のある方は、ぜひブログをご覧ください。



くわなメテアライヴ1階 託児室「フレイルーム」から

◎開室時間…9時～18時

◎対象年齢…概ね生後3か月の乳児から就学前の児童

“選べる桑名市子育てリフレッシュ事業”の『一時預かりサービスチケット』は、就学前のお子さんまで利用できるようになりました。

利用をお考えのご家庭は、早めの予約をお願い致します。

★利用の1か月前から予約受付を行っています。



室内を見学したい方、利用の仕方を知りたいなど何でもお気軽にフレイルームにお問合せください。 TEL (0594) 24-1434

★ 小学生のお子様のことも話に来てください。子どものことをおしゃべりしましょう！

4月の入園・入学以降、お子さんも保護者の方も今までとは違ったタイムスケジュールでの生活が始まり、思っていたのと違うなあなど、不安をお持ちの方もいらっしゃると思います。悩みや不安はあって当たり前です。お一人で悩まず“憩いの広場”のスタッフにちょっと愚痴を言ってみませんか。すぐに解決ができなくても心は軽くなりますよ。

子育て支援センターは、未就学のお子さんと保護者の方が利用していただける施設ですが、憩いの広場では、土曜日にスクールハートパートナーのスタッフが勤務しており、小学生以上のお子さんについての相談も受け付けています。気軽にお声がけください。



子育て支援センター「子育て憩いの広場」は“駆け込み寺”です。

無理をせず我慢せず、SOSを発信してください。「つらい」「しんどい」「助けて」が言える場所です。

電話相談もできます。気軽に遊びに来てね！誰かと話すだけで気持ちは変わる！

＜子育て支援センター憩いの広場講座＞「ウェルカムベビープログラム」

★赤ちゃんが生まれるまでに育児のアレコレを体験してみましょう。

妊婦さん同士おしゃべりしたり、助産師さんに質問したり、
出産前のゆとりがある時に安心を手に入れませんか！

対象：妊娠中の方とパートナー

参加費： 無料

★参加者受付中！



2025年度 7月実施（7月5日・12日・19日）
11月実施（11月15日・22日・29日）
2月実施（2月28日・3月7日・14日）

●お問合せは『子育て憩いの広場』にご連絡ください。



申込みフォーム

賛助会員のみなさま 私どもの活動にご賛同、ご支援、誠にありがとうございます。

- 瀬古利彦様 ■ ミズタニセイキ様 ■ 大善鉄工株式会社様 ■ 株式会社日永屋様
- 法盛寺様 ■ 御菓子司保々屋様 ■ 五大茶屋様 ■ エスケー電気工事株式会社様
- 株式会社新技術グローバルコンサルティング様 ■ 株式会社山盛堂本舗様
- 有限会社美鹿山荘様 ■ 株式会社東亜機工様 ■ 大洋産業株式会社様
- 株式会社アヅマヤ様 ■ 株式会社アサプリホールディングス様 ■ 有限会社大栄製作所様
- オーケーズデリカ株式会社様 ■ 株式会社金星堂様 ■ 藤本直記税理士事務所様
- 竹内ひろ子様 ■ 鬼頭和子様 ■ その他の企業 1社様 ■ その他の個人 7名様

●編集・発行・問合わせ

NPO法人ネットワークくわっこ

〒511-0073

桑名市北寺町61

TEL & FAX 0594-21-0501

E mail kuwakko@par.odn.ne.jp

ホームページを見てね。
いろんな活動を紹介してます。

ネットワークくわっこ



Instagramも見てね

